

29 表現の工夫をとらえる

学年	
組	
名前	

平成21年度
全国学力・学習状況調査
国語A問題
平均正答率 58.8%

1

次は、お菓子をつくっている美奈を主人公にして書かれた

物語の一部です。文章の表現のくふうについて説明したもの

として、もっともはさわしいものをあとの1から4の中から

一つ選んで、その番号を書きましよう。

美奈は悲鳴をあげた。スポンジケーキが焼きあがるはずだったのに、オーブンからでてきたものは真っ黒な炭だったからだ。

美奈は、このごろ日曜日にはお菓子づくりにせんねんしている。先週はクッキーを焼いた。できあがったものは、みょうに歯にくっつくクチャクチャしたガムのようなものだった。そのまえの週は、ドーナツをあげた。おいしそうなきつね色にあがったのに、中は空どうだった。そのまえは、プリンをつくった。ボソボソとしたスポンジみたいだった。

それもこれも、今年のクリスマスには、友だち同士で手作りのお菓子をもちよって、パーティーをすることになったからだ。まったくだれが言い出したんだらう。わたしではなかった。美奈は、ため息をついた。

(柏葉幸子『大おばさんの不思議なレシピ』による)

【表現のくふう】

- 1 美奈と友だちとの関係が分かるように、それぞれの性格や考え方を書いている。
- 2 美奈が体験したことを、ほかの登場人物に対して語りかけるように書いている。
- 3 美奈が取り組んだお菓子づくりのことを、つくった順序のとおりに書いている。
- 4 美奈がお菓子をつくるたびに失敗してしまう様子を、たとえ[☆]を使つて書いている。

こたえ (4)

☆「たとえ」は、「〜のような、〜みたいな」という言葉を使って様子を分かりやすく伝えることができます。